

国語科学習指導案

平成18年2月1日(水) 5校時

板橋区立蓮根小学校 3年2組

指導者 水嶋 聡子

1.

研究主題

「自ら学び豊かに表現する子どもの育成」
基礎・基本の定着を図る指導法の研究

中学年部会テーマ 「自分の思いや考えを伝えることができる子」

2. 単元名「モチモチの木」～リーダーシアターを取り入れて～

3. 単元について

(1) これまでの取り組み

この学年は、第2学年の時に、「ふきのとう」や「お手紙」の学習で、班ごとに役割を決め、音読したり、動作化したりしながら、読み取りを深めてきた。

第3学年になり、国語科では、「音や」の学習で役割読みを経験している。

また、音読カードを用いて音読を継続することにより、一文読みなどではなめらかに音読でき、声に出して読むことに抵抗も少なくなった。

一方聞く活動としては、日直のスピーチの中で質問の時間を作ったり、作文や感想を皆の前で発表したりするという時間を持つことにより、4月当初に比べると、よく聞けるようになってきている。

以上のような取り組みの成果として、みんなの前で発表することに抵抗が少なくなったことや、役になりきり表現することを楽しめる児童が増えてきた。

課題としては、話をしっかりと聞き取ったり、自分と他者の考えを比較し、自分で工夫をしながら表現する力を伸ばしたりしていくことが挙げられる。

ここでは、「モチモチの木」の物語表現を参考にし、豊かに表現する力、友だちの良さを伝え合う力を育てたい。

(2) 児童の実態

今までの二年間の積み上げがあるために、自分の考えを堂々と発言できる子がいる。友達のことを聞いて、自分の考えを創り直し、練り合える子もいる。しかし、一方で、自分の気持ちを上手く表現できないという子もいる。そこで、自分の思いや考えを豊かに表現し、伝え合うことのよさを感じるために、朝のスピーチ活動や音読等を通して、「話をしてよかった」と思えるような、話す楽しさを少しずつ味合わせてきた。

また、音読カードの取り組みによって、先生に読まされるから読むのではなく、自分から読もうとする姿勢を育てる中で、「声に出して読む」という意欲も高まってきている。

しかし、教材文の内容について考える時間を多く設定してきたが、読み取る力の弱さを感じる。今後も、一文や段落の内容を丁寧に読み取る時間を大切に、自分の考えや思いを伝え合えるようにしていきたい。

4. 研究主題に迫るための手立て

(1) リーダースシアターの試み

「言葉」に焦点をあて、音声化することにより、役になりきって感情を表現したい。
また、聞き手は、友達の良さを見つけていくようにしたい。

(2) 活動の工夫

- ・ 4人から5人でグループを組み、一人一人の役割の重要さを意識し、どのような表現をしたらよいか、もう少し改善できるところを考えられるようにする。
- ・ 他のグループの発表を見て、意見を交換し、改善点や、自分達の表現の良さに気づく機会を作る。

5. 単元のねらい

リーダースシアターを通して、相手の良さを見つけ、伝え合うこと。自分の考えを工夫しながら豊かな音声表現ができる力をつける。

6. 活動計画 19時間(本時 16/19)

過程	学習活動	支援 評価
つかむ	<p>今回の学習のおおまかな見通しをもつ。 (1) 学習のねらいを確認する。</p> <p>教材文を音読する。 感想や疑問などを話し合う。(1)</p>	<p>目当てを意識して読ませる。 自分のペースで丁寧に読むよう声をかけていく。</p> <p>自分の意見を持ち、発表できたか。</p>
深める	<p>リーダースシアターに親しもう。(2) 見えないボールで遊べる? 見えない縄で大縄跳びをしよう。 全体で基本を確認する。</p> <p>リーダースシアターの表現方法を用いて、「モチモチの木」を読み進める。 (14) 1. 2. 「おくびょう豆太」の場面を読み取る。 ・ 「豆太の臆病さ」を、読み取る。</p> <p>3. 4. 「やい、木い」の場面を読み取る。 ・ 昼間と夜の豆太の気持ちの変化 ・ 前回学んだリーダースシアターの基本的な動きを取り入れて、グループごとに読む練習をする。 ・ 中間発表会をする。 ・ 他のグループの発表を見合い、良さや気づいたことを話し合う。 ・ 出された意見を元に、もう一度練習をする。</p> <p>5. 6. 「霜月二十日のばん」の場面を読み取る。 ・ 「モチモチの木」に灯がともるのを見たいけど怖いと思う豆太。</p>	<p>「見えないものが見えてくる」「ないものを感じ取る」ため、自由に想像させ、イメージをふくらませる。 椅子や道具の使い方、声の出し方、視線など基本的な動きを紹介する。 リーダースシアターの基本的な動きを理解できたか。</p> <p>「豆太」「じさま」の性格や行動、二人の関係などを、確認しながら読み進める。 登場人物の気持ちを読みとることができる。 登場人物の気持ちについて、質問し、場面ごとの「豆太」の気持ちを読み取っていく。 グループに分かれ、役割を決めながら、一人一人自由に想像させ、読み進めていく。 昼間と夜のモチモチの木に対する豆太の気持ちの変化をとらえられるよう支援する。 他の班の表現の良さについて意見を出させるようにする。 前時の学習を振り返って、自分の考えと比べながら聞き、自分と照らし合わせた意見が持てるように助言する。</p> <p>気持ちの変化を感じ取り、読むことができたか。 発言が一部の児童に偏ることのないよう、発言しづらい児童については意図的に指名する。</p> <p>3. 4時間目と同じ流れで活動に取り組む。 モチモチの木に灯がともるのを見たいけれど、怖いと思う豆太の気持ちをとらえられるよう支援する。</p>

	<p>7 . 8 . 9 . 10 . 11 . 「豆太は見た」の場面を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「じさま」を思う豆太の気持ち。 ・ 「勇気を出した豆太」の気持ち。 ・ 「モチモチの木」に、灯がついているのを見たときの豆太の気持ち。 ・ ナレーターの表現方法についても考える。 ・ 「豆太は見た」の前半と後半の場面をグループごとにわけて、練習する。 ・ 役割を決め、グループごとに練習をする。 ・ 役割ごとに練習をした後、グループ全体で合わせて練習をする。 ・ 発表を見せ合い、意見を元に、発表会に向けて繰り返し練習をする。 <p>12 . 「豆太は見た」の場面の発表会を開く { 本時 }</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動内容を知る。 ・ 発表会を開く。 ・ 学習の振り返りをする。 <p>13 . 14 . 「弱虫でも、やさしけりゃ」の場面を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「弱虫でもやさしい豆太」の気持ち。 	<p>他のグループの発表から、工夫しているところ、良いところを見つけさせる。 積極的に、内容について考えようとしたか。</p> <p>3 . 4 時間目と同じ流れで活動に取り組む。</p> <p>児童の表現の良いところを見つけ、褒めていく。</p> <p>「霜月二十日のばん」の場面までの豆太の気持ちと対比させる。</p> <p>暗記するまで、練習するように投げかける。</p> <p>「じさまを思う豆太」の気持ちを表現することができたか。 「不思議なもの」を見たときの豆太の気持ちを工夫して表現できるよう支援する。</p> <p>意見を出し合い、良い表現をしていこうと努力したか。 聞く時は、他の班のよいところを聞くように声をかける。 友達の発表を聞いて、表現を工夫できたか。</p> <p>役になりきって表現するように、声をかける。 他のグループの発表から、工夫しているところ、良いところを見つけさせる。 登場人物の気持ちになって表現できているか。 友だちの良さや工夫を見つけることができたか。 自己評価ができたか。</p> <p>3 . 4 時間目と同じ流れで活動に取り組む。</p> <p>登場人物の気持ちの変化を考えながら表現できるよう支援する。 「弱虫でも、やさしけりゃ」の後には、何が続くのかを考えさせる。 気持ちを考えながら、読み取ることができたか。</p>
ま と め る	<p>学習の振り返りをする。(1) 感想を書き、発表する。</p>	<p>「モチモチの木」を学習し、良かったところ、楽しかったところの感想が書けるように声をかける。 一人一人が自分の感想を持てたか。</p>

7. 本時の活動

(1) 本時のねらい

- ・ 登場人物の気持ちや場面を考え、工夫しながら音声表現をする。
- ・ 他のグループの発表を見て意見を交換し、改善点や良さを自分の表現に生かそうとする。

(2) 本時の展開

主な学習活動	支援 評価
1. 今日の活動内容を知る。 <ul style="list-style-type: none">・ 目当ての確認をする。・ 全体で、発表会をする。	活動内容を掲示し、見通しを持たせる。 声をはっきり大きく出すこと、登場人物の気持ちになり表現すること、友達の良いところを見つけることを確認する。
2. 全体発表会を開こう。(6グループ) <ul style="list-style-type: none">・ 4の場面を、工夫しながら表現しよう。・ 友だちの良いところ、工夫しているところを伝えよう。	グループの発表の良かったところを出すようにする。 工夫しながら表現しているか。 友達の良さや工夫を見つけることができたか。
3. 学習の振り返りをしよう。 <ul style="list-style-type: none">・ 良かったことを発表しよう。	自己評価ができたか。

8. 評価

登場人物の気持ちや場面を考え、工夫しながら音声表現をしているか。

他のグループの発表を見て意見を交換し、改善点や良さを自分の表現に生かそうとしているか。